

八十里越を通って工芸品が燕に集う。
佐渡の金、燕の銅、ふたつの山の育んだ産業がここに。



燕~八十里越~佐渡 産業・工芸・文化展

2026.08.11.tue ~9.27.sun



燕市産業史料館
TSUBAME INDUSTRIAL MUSEUM

●会場：燕市産業史料館 別館 企画展示室 ●開館時間：午前9時～午後4時30分
●主催：燕市 ●後援：福島県、新潟県、佐渡市

燕~八十里越~佐渡 産業・工芸・文化展

2026.08.11.tue ~9.27.sun

燕の金属加工産業は江戸時代から現代まで続くものですが、技術は会津と新潟を結ぶ八十里越を通った職人によってもたらされました。令和9年夏に八十里越(国道289号)が開通することを見据え、会津地域をはじめとする

八十里越を越えた先の地域の工芸技術を取り上げます。

また、燕と佐渡のそれぞれの産業の歴史をたどると、燕は鉦起銅器やキセルの製造などの弥彦山の鉦山が育んだ産業、佐渡は金の採掘や小判製造などの佐渡金山を中核とした産業で、それぞれ鉦山が産業を育んできた土地があります。これらの類似点から、燕の「銅」、佐渡の「金」という「金属」をテーマに取り上げます。

本展では、地域産業や工芸の歴史をたどり、それぞれの地域がどのように文化を形成してきたかをご紹介します。



【企画展関連イベント】

金塊つかみ体験会

- 日時：8月29日(土)、30日(日) 各日午後1時～午後3時
- 会場：新館 多目的ホール ●参加費：無料(入館料別途必要)
- ※当日、参加希望者へ整理券の配布を行う予定です。

対談会：「玉川堂×タゼン—銅を叩き、未来につなぐ—」

銅を扱ってきた老舗の工房が、伝統や歴史を守りながら進める、未来に向けた取り組みについて、当代同士で語っていただきます。

- 日時：9月20日(日) 午後2時～午後3時30分(開場：午後1時15分)
- 登壇者：玉川基行(株式会社玉川堂 代表取締役社長)
田中 善(株式会社タゼン 代表取締役社長)
- 会場：新館 多目的ホール ●参加費：無料(入館料別途必要)
- 定員：80名(予約優先、申込は燕市産業史料館のHPの申込フォーム)

「仙臺銅壺」小箱づくり体験会

仙臺銅壺の技法を用いて、小箱をつくります。できあがった小箱は、お持ち帰りいただけます。同じ銅でも、燕の鉦起銅器と異なる制作方法を体験できる貴重な機会です。※この度の体験で制作するものは鉦目がありません。

- 日時：9月21日(月・祝)①午前9時30分～正午 ②午後1時30分～午後4時
- 講師：株式会社タゼン(宮城県仙台市) ●会場：体験工房館
- 参加費：1,000円(現金のみ、入館料別途必要) ●対象：中学生以上
- 定員：各回4名(予約優先、申込は燕市産業史料館のHPの申込フォーム)

佐渡の伝統芸能：鬼太鼓実演

「鬼太鼓」とは、神の力を持つと考えられている鬼が踊りながら太鼓を叩き、集落の厄を払う佐渡の伝統芸能です。9月27日(日)に道の駅SORAIRO 国上周辺で開催される「越後くがみ山酒呑童子行列」とあわせてお楽しみください。

- 日時：9月26日(土) ①午後2時～ ②午後3時～(各回20分程度)
- 出演：佐渡伝統芸能集団 越佐
- 会場：屋外交流広場
- 参加費：無料(入館料別途必要) ※参加申込不要

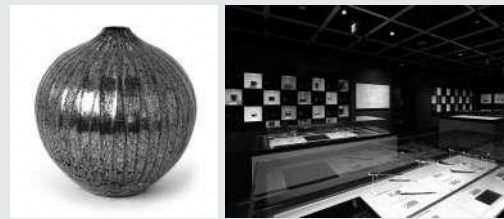
※その他企画展・イベントに関する情報、参加申込はコチラ →



燕の産業の起源を知る。

燕市産業史料館 [常設展]

燕市は江戸時代から続く金属加工産業の集散地として知られています。その産業の起源を分かり易く紹介しております。



起源を紐解く【本館】

江戸時代から続く鉦起銅器、ヤスリ、煙管、彫金といった伝統的金属工芸技術について、製作工程や作業場の復元の展示を通して紹介しています。



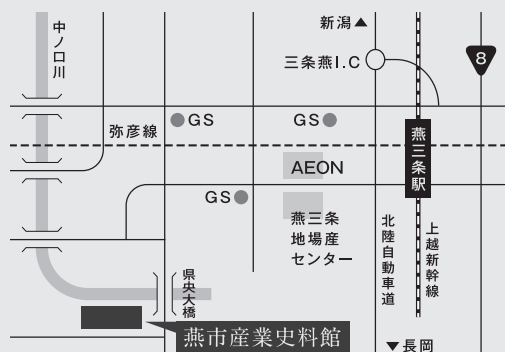
歴史を知る【新館】

明治から始まる燕の金属洋食器の歴史や金属ハウスウェアなどの展示を通して、現在に至る金属産業の変遷をたどることができます。



技術に触れる【体験工房館】

様々な体験メニューでお子様から大人の方まで楽しんでいただけます。作った作品は持ち帰ってご使用いただけます。



入館料 大人400円、小・中・高校生100円
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

燕市産業史料館
TSUBAME INDUSTRIAL MUSEUM

〒959-1263 新潟県燕市大曲4330-1
TEL 0256-63-7666
<https://tim.securesite.jp>

